

資料2 各種アンケート結果概要

＜平成22年名古屋市外国人市民アンケート調査 概要＞

調査の概要

(1) 調査の目的

日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすいまちづくりを進めるために、外国人市民の現状及び課題、ニーズなどを把握し、施策推進の資料とする。

(2) 調査対象者

平成22年8月10日現在において、名古屋市に外国人登録をしている20歳以上の外国人で、出入国管理及び難民認定法に定める別表第一及び別表第二の在留資格を有するもの等から無作為抽出した6,000人

(3) 調査方法と期間

訪問留置法（訪問してアンケート用紙を手渡し、後日用紙を原則として訪問回収する（一部郵送回収を含む）。）

平成22年9月6日（月）～26日（日）

(4) 回収率

対象者6000人中の回収率 28.5%（対象者数6,000人中1,708人）

実質回収率 38.9%（実対象者※4,389人中1,708人）

※対象者数から帰国者、転居者、世帯の重複等を除いたもの

(5) その他

英語、中国語、ハンゲル、フィリピン語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語とふりがな付き日本語対訳の調査票を使用した。

言語は、外国人登録者の多い国籍の母国語順に、上位7カ国語を選んだ。

アンケートと共に外国人に関わる事業一覧（黄色いパンフレット）を同封した。

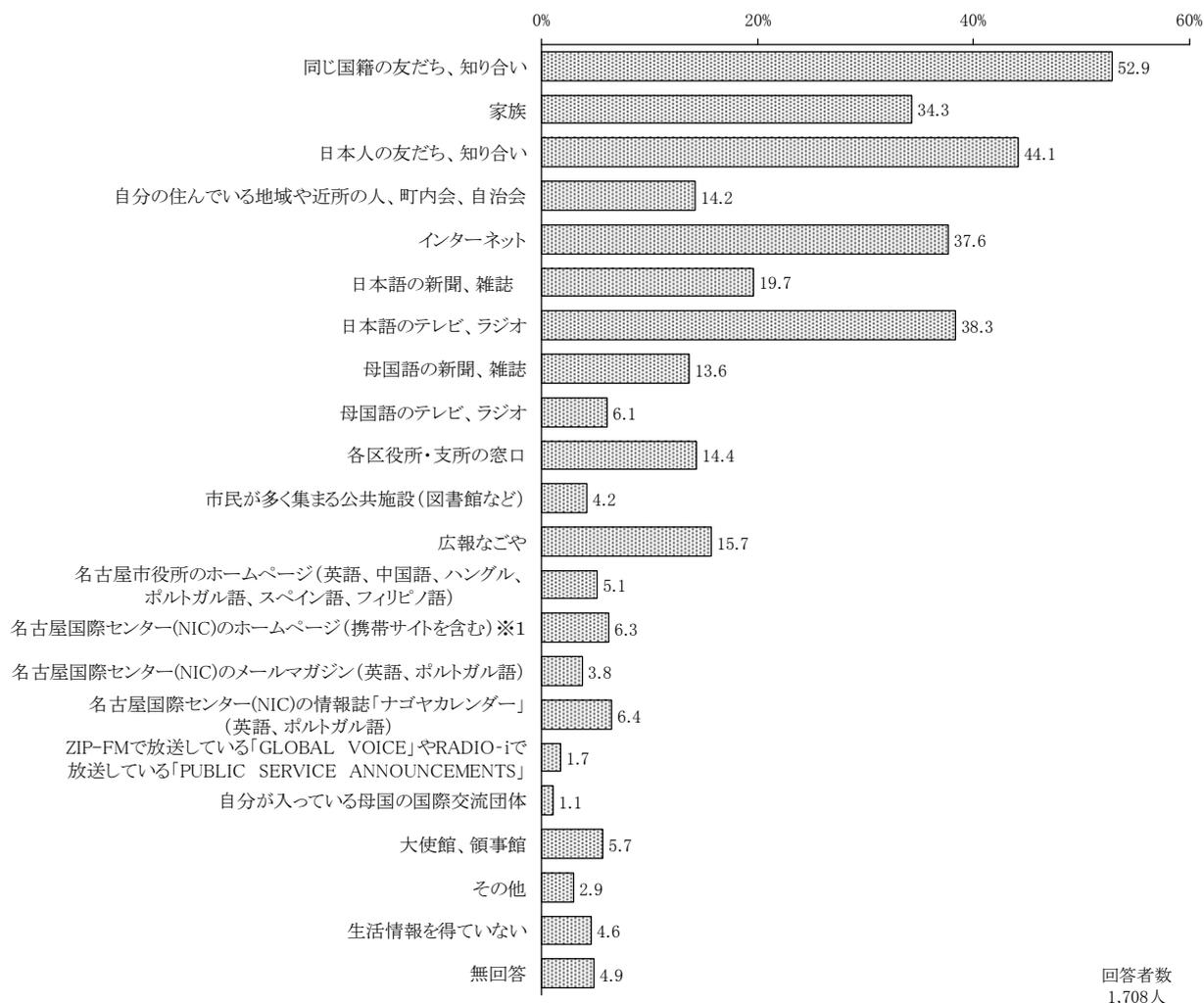
図表の比率は小数点以下第2位で四捨五入しているため、比率の合計は100.0%にならない場合がある。

複数回答の図表は[MA]と表示し、比率の合計は100.0%を超える。

調査結果（抜粋）

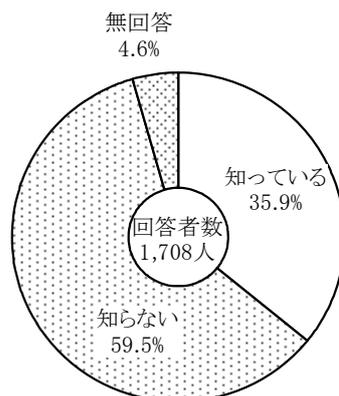
《プラン本文P 6 関連》

問1 あなたは、名古屋市の生活情報を、どこから得ていますか。[MA]



《プラン本文P 6 関連》

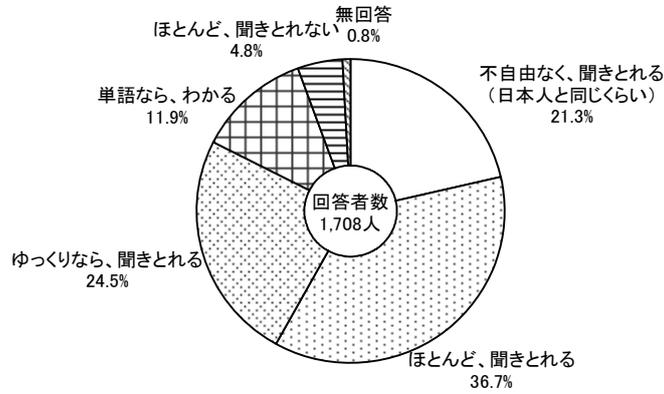
問2 あなたは「名古屋生活ガイド」を知っていますか



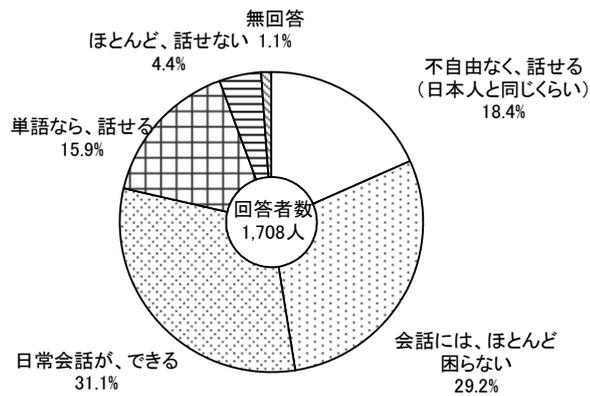
《プラン本文P6・P8関連》

問29 あなたの日本語能力について、お聞きします。

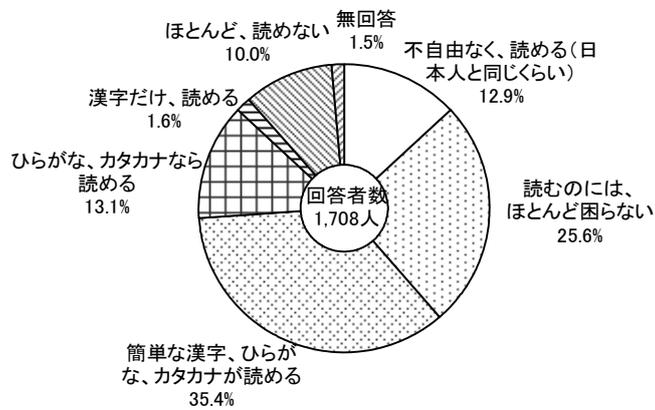
1) 聞く



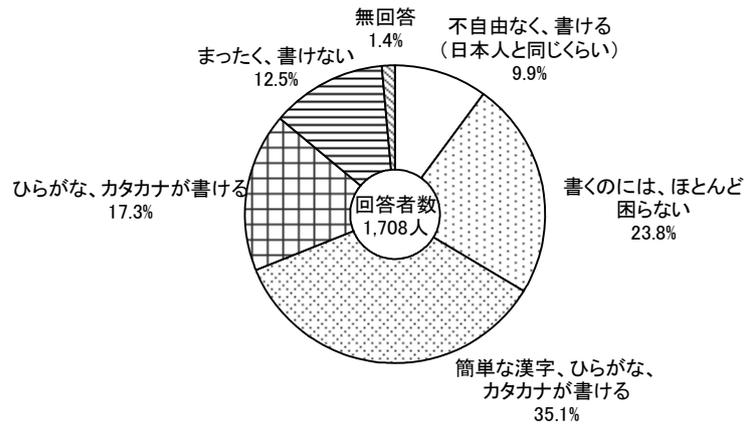
2) 話す



3) 読む



4) 書く



日本語能力(得点合計)

問 29-1~4 の回答を選択肢 1 の不自由ないを 1 点、選択肢 2 のほとんど困らないを 2 点、選択肢 3 を 3 点、選択肢 4 を 4 点、選択肢 5 のほとんどできないを 5 点として合計した。問 29-3 については「ひらがな、カタカナなら読める」と「漢字だけ、読める」を共に 4 点とした。

○内に得点合計を示した。得点合計が大きいほど、日本語の不自由が多く、小さいほど日本語能力が高いことを示す。

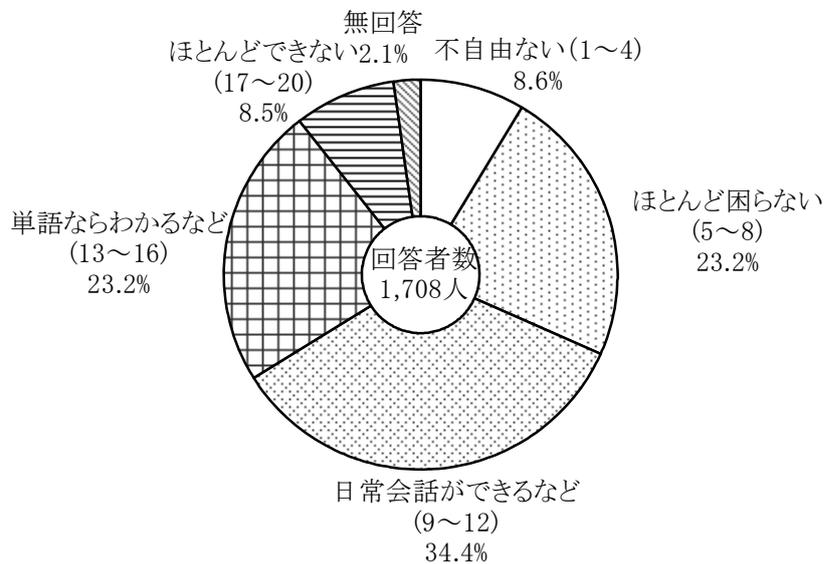
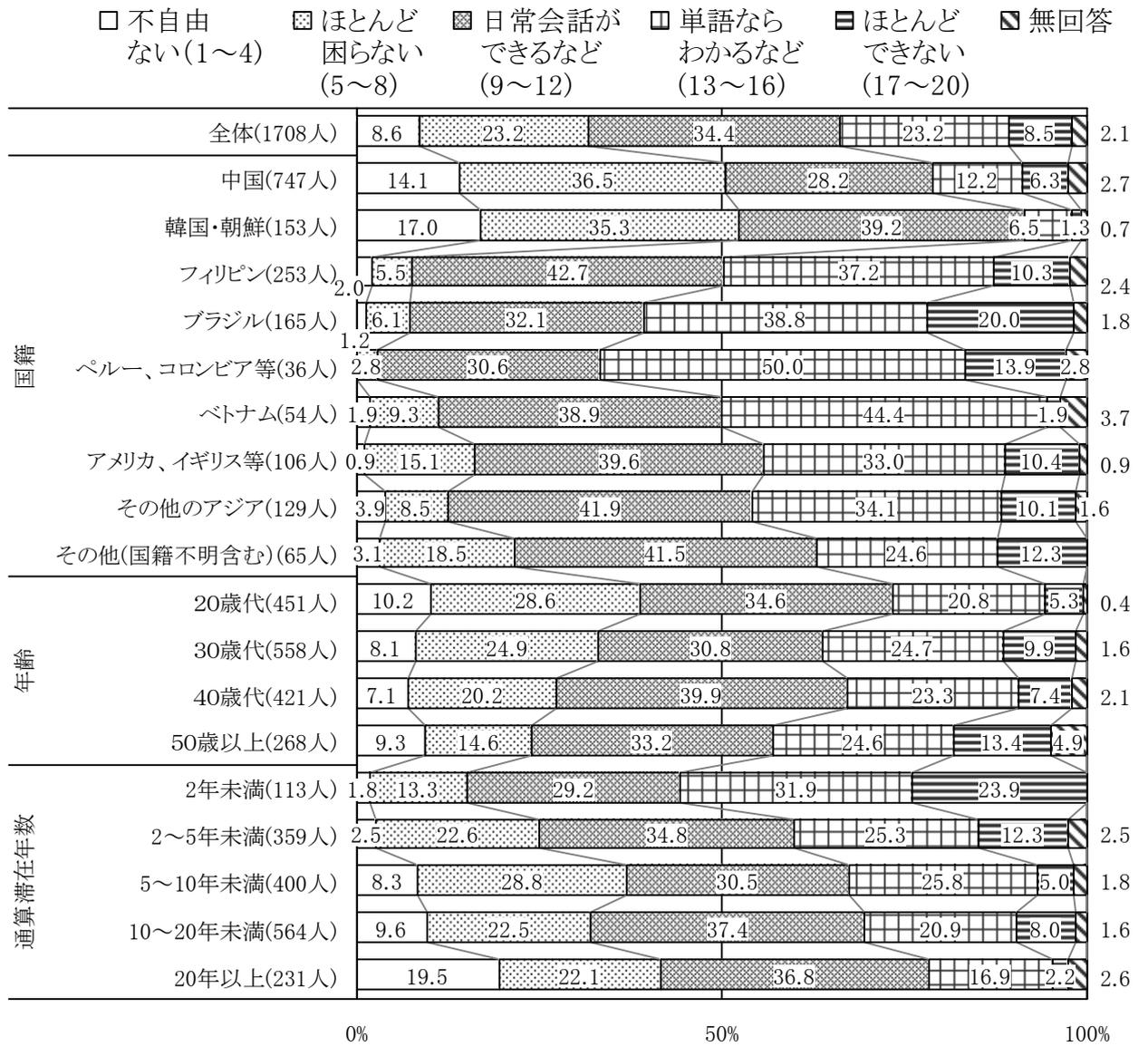


図1 日本語能力(得点合計)、基本属性別



《プラン本文P 8 関連》

問 3 0 あなたは現在日本語を勉強していますか。

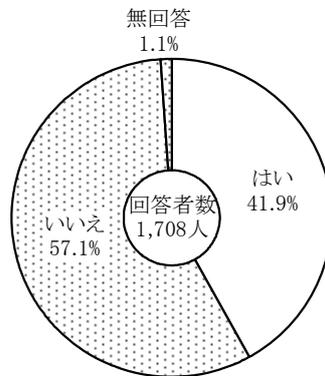


図 2 現在日本語を勉強しているか、基本属性別

